

# 平成 28 年度広島県「基礎・基本」定着状況調査について

平成 28 年 9 月  
熊野町教育委員会

## 1 調査期日

平成 28 年 6 月 7 日 (火)

## 2 調査対象

小学校第 5 学年 中学校第 2 学年

## 3 調査内容

- ① 教科に関する調査 小学校国語・算数・理科  
中学校国語・数学・理科・英語
- ② 生活と学習に関する意識・実態についての児童生徒質問紙調査
- ③ 指導方法等に関する学校質問紙調査

## 4 熊野町の教科の調査結果

※

【各教科の平均通過率 (%)】

小学校	国語	算数	理科
熊野町平均通過率	68.6	71.5	66.8
広島県平均通過率	63.7	69.4	60.6

中学校	国語	数学	理科	英語
熊野町平均通過率	76.0	74.0	74.0	74.9
広島県平均通過率	69.7	66.8	51.8	69.6

※平均通過率 (%)

設問ごとの通過率 (正答または準正答を解答した児童生徒の割合) を領域や教科全体等で平均したもの

【領域等の通過率 (%)】

小学校				中学校					
教科	領域等	広島県	熊野町	教科	領域等	広島県	熊野町		
国語	教科全体	63.7	68.6	国語	教科全体	69.7	76.0		
	タイプⅠ	聞くこと	80.0		80.1	タイプⅠ	聞くこと	87.9	92.6
		書くこと	66.6		73.0		書くこと	58.7	70.2
		読むこと	55.8		58.1		読むこと	62.7	61.6
		伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	68.6		73.4		伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	75.6	83.4
	タイプⅡ	36.7	47.2		タイプⅡ	60.6	66.0		
算数	教科全体	69.4	71.5	数学	教科全体	66.8	74.0		
	タイプⅠ	数と計算	85.3		87.4	タイプⅠ	数と式	69.6	77.0
		量と測定	70.2		69.9		図形	67.9	83.5
		図形	62.4		64.6		関数	77.8	85.9
		数量関係	66.4		67.5		資料の活用	64.0	69.0
タイプⅡ	52.0	56.3	タイプⅡ	57.3	59.6				
理科	教科全体	60.6	66.8	理科	教科全体	51.8	74.0		
	物質	59.3	60.5		物理	49.8	74.0		
	エネルギー	54.6	62.2		化学	44.1	68.8		
	生命	68.2	76.9		生物	57.4	77.8		
	地球	61.8	69.2		地学	57.4	76.5		
英語	教科全体	69.6	74.9	英語	教科全体	69.6	74.9		
	タイプⅠ	聞くこと	71.2		73.5	タイプⅠ	聞くこと	71.2	73.5
		読むこと	74.9		74.8		読むこと	74.9	74.8
		書くこと	68.3		74.3		書くこと	68.3	74.3
		話すこと	77.3		87.4		話すこと	77.3	87.4
タイプⅡ	53.0	62.1	タイプⅡ	53.0	62.1				

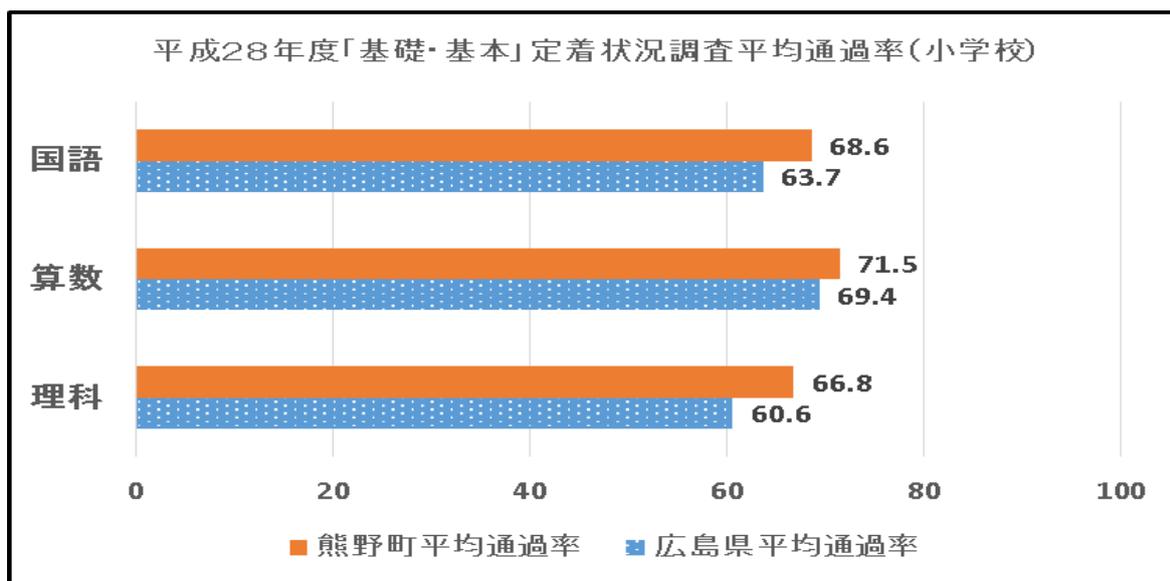
○青字・・・広島県平均通過率以上

○タイプⅠ、Ⅱ

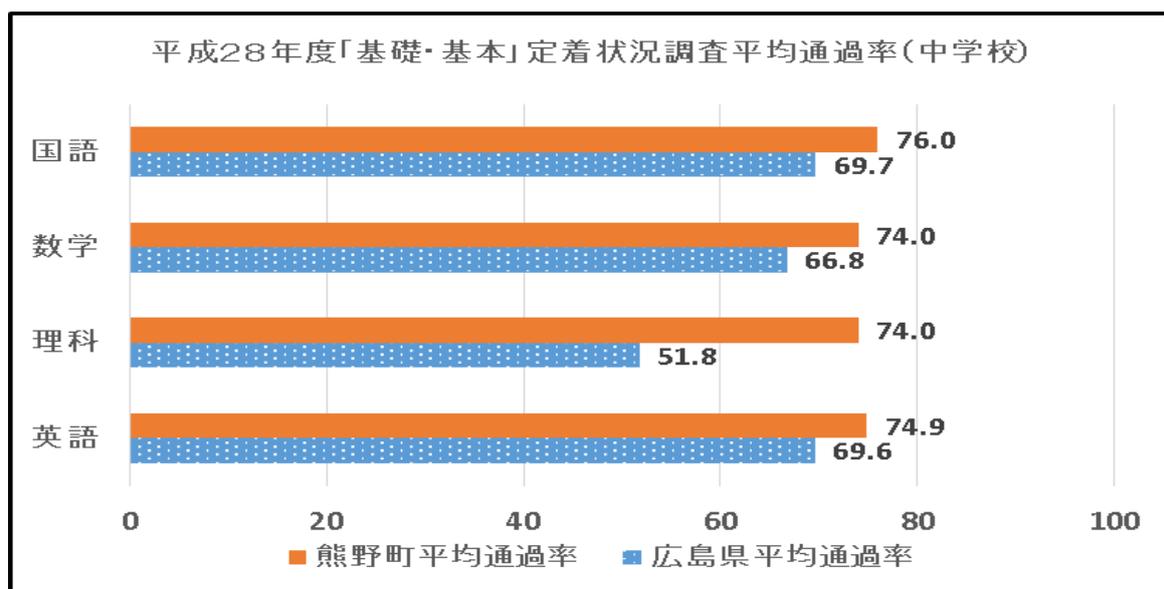
\*タイプⅠ：教科で身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼすなどの基礎的・基本的な内容

\*タイプⅡ：教科で学習した知識・技能を実生活や学習の様々な場面に活用する力などに係る内容  
・理科は、タイプⅠとタイプⅡが、各領域に含まれている。

### 【小学校第5学年】



### 【中学校第2学年】



○本調査においては、調査を実施した全ての教科において、広島県平均通過率を上回っており、熊野町の児童生徒の学力は概ね定着している。

○各領域等別にみると、ほぼすべての領域等において広島県の平均通過率を上回っている。しかし、小学校 算数 領域「量と測定」、中学校 国語 領域「読むこと」、中学校 英語 領域「読むこと」において課題がみられる。

○今回明らかになった課題について、各学校において児童生徒の誤答を分析し、授業改善に活かすとともに、これまで町内で実施してきた小中連携による授業改善の取組を一層推進する。